

GeoWebフォトシステム 操作マニュアル



スマートフォン・タブレット 編

ジオサイン株式会社

1.	GeoWebフォトアプリを起動する	・・・	1
2.	物件の予定情報をダウンロードする	・・・	3
3.	物件情報を新規登録する	・・・	7
4.	写真の撮影を行う	・・・	9
5.	写真データを送信する	・・・	13
6.	ファイル管理ダウンロード機能を使用する	・・・	14
7.	ファイル管理アップロード機能を使用する	・・・	17
8.	ファイル管理FlashAir連携機能を使用する	・・・	19
9.	ファイル管理一括アップロード機能を使用する	・・・	21
10.	○施工データ送信（Cross、AGM、YBM）	・・・	24
11.	ゴミ箱機能を使用する	・・・	27
12.	システム設定	・・・	30

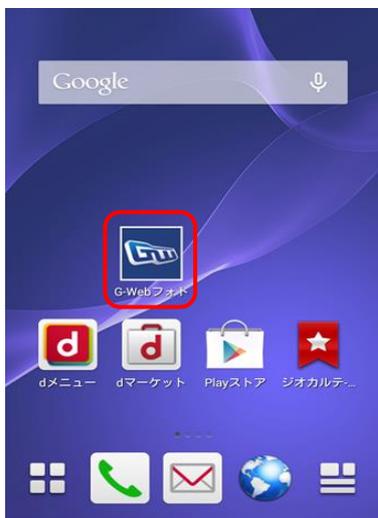
1. GeoWebフォトアプリを起動する

【スマートフォン・タブレット】

GeoWebフォトアプリを起動します。更新プログラムがある場合はバージョンアップを行います。

1. GeoWebフォトアプリを起動する

ホーム画面またはアプリ一覧画面で「GeoWebフォト」をタップしてアプリを起動します。起動完了までに時間がかかることがあります。



ホーム画面



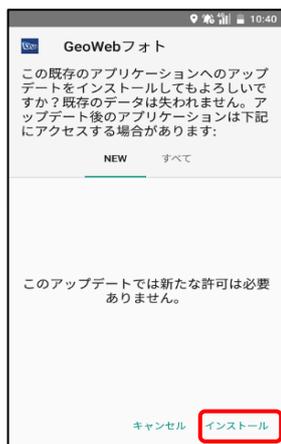
GeoWebフォト メイン画面

2. GeoWebフォトアプリのバージョンアップを行う

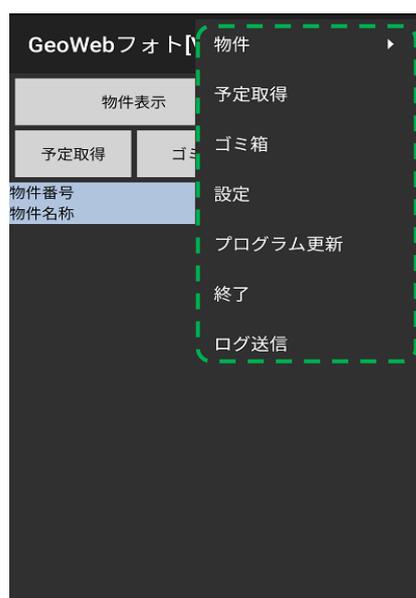
アプリ起動時に、自動で更新プログラムの有無をチェックしています。



上のように、通知領域に  が表示された場合は、更新プログラムがあります。通知パネルを表示して、最新版をインストールしてください。



3. GeoWebフォト メイン画面



アプリのバージョンアップを行うと、
[Ver.1.88] 部分の数値が更新されます。

[物件] 部分は、スマートフォン・タブレット本体の
 メニューキー【・・・】をタップすると表示されます。

項目	内容
ボタン	
物件表示	明細で選択した物件情報を表示し、写真撮影等の作業を行います。
新規登録	GeoWebサーバーに物件の予定情報が登録されていない場合に、スマートフォン・タブレットで物件情報を新規作成します。
予定取得	GeoWebサーバーから物件の予定情報をダウンロードします。
ゴミ箱	ゴミ箱内の物件情報の操作やゴミ箱機能の設定を行います。
終了	GeoWebフォトアプリを終了します。
明細	
物件番号 物件名称	物件情報の物件番号と物件名称を表示します。
作業日時	作業開始日時を表示します。予定取得直後は作業予定日時を表示します。
担当	担当者名を表示します。
状態	記号で物件情報の作業ステータスを表示します。 - : 未着手 / △ : 作業中 / ◎ : 送信済 / ● : 送信中
メニュー	
物件	明細で選択した物件情報を表示し、写真撮影等の作業を行います。
予定取得	GeoWebサーバーから物件の予定情報をダウンロードします。
ゴミ箱	ゴミ箱内の物件情報の操作やゴミ箱機能の設定を行います。
設定	GeoWebフォトアプリの設定メニューを表示します。
プログラム更新	更新プログラムの有無を確認して、バージョンアップを行います。
終了	GeoWebフォトアプリを終了します。
ログ送信	端末の操作履歴情報をサー、

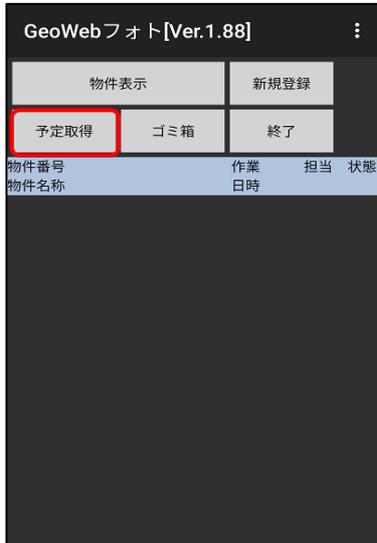
2. 物件の予定情報をダウンロードする

【スマートフォン・タブレット】

GeoWebサーバーにあらかじめ登録しておいた物件の予定情報をダウンロードします。
物件の予定情報が登録されていない場合は、「3. 物件情報を新規登録する」を参照ください。

1. 予定取得条件画面を表示する

メイン画面の「予定取得」ボタンをタップして、予定取得条件画面を表示します。



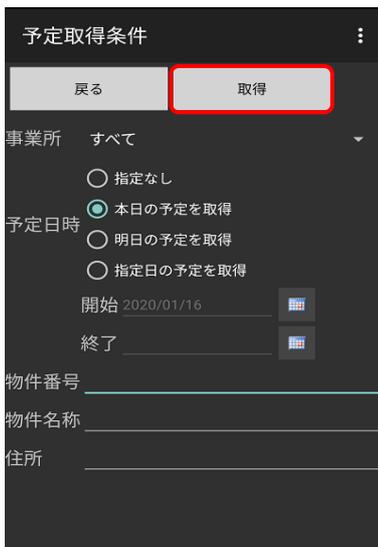
GeoWebフォト メイン画面



予定取得条件画面

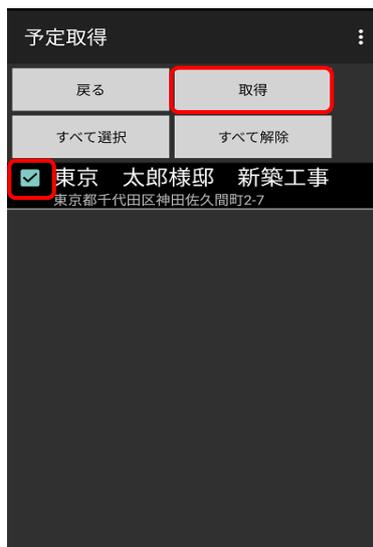
2. 予定情報を取得する

予定の絞り込み条件を設定し「取得」ボタンをタップすると、予定取得画面に条件に該当する物件情報が表示されます。取得したい物件情報のチェックをONにして「取得」ボタンをタップすると、メイン画面に反映されます。



予定日時：

「指定日の予定を取得」を選択した場合のみ、日付の指定が可能となります。



予定取得画面



GeoWebフォト メイン画面

2. 物件の予定情報をダウンロードする

【スマートフォン・タブレット】

「指定日の予定を取得」を選択すると、複数の日付の物件をまとめて取得することができます。

予約取得条件

戻る 取得

事業所 すべて

指定なし

予定日時 本日の予定を取得

明日の予定を取得

指定日の予定を取得

開始 2020/01/16

終了

物件番号

物件名称

住所

2020
1月18日(土)

2020年1月

日 月 火 水 木 金 土

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

キャンセル OK

予約取得条件

戻る 取得

事業所 すべて

指定なし

予定日時 本日の予定を取得

明日の予定を取得

指定日の予定を取得

開始 2020/01/16

終了 2020/01/18

物件番号

物件名称

住所

予約取得

戻る 取得

すべて選択 すべて解除

東京 太郎様邸 新築工事
東京都千代田区神田佐久間町2-7

東京 次郎様邸 新築工事
東京都千代田区神田佐久間町

東京 三郎様邸 新築工事
東京都千代田区神田佐久間町

GeoWebフォト[Ver.1.88]

物件表示 新規登録

予定取得 ゴミ箱 終了

物件番号	作業日時	担当	状態
20200118-001	2020/01/19 00:00	デモ用 ②	—
20200117-001	2020/01/18 00:00	デモ用 ②	—
20200116-001	2020/01/17 00:00	デモ用 ②	—

予定日時が異なる物件をまとめて取得したいときや、物件の予定日時がわからないときなどに、手軽に検索を行えます。

2. 物件の予定情報をダウンロードする

【スマートフォン・タブレット】

物件名称や住所を入力すれば、取得したい物件を!

予定取得条件

戻る 取得

事業所 すべて

指定なし

本日の予定を取得

予定日時 明日の予定を取得

指定日の予定を取得

開始 2020/01/16

終了

物件番号

物件名称

住所

予定取得

戻る 取得

すべて選択 すべて解除

- 柱状改良テスト
東京都千代田区神田佐久間町
- 柱状改良デモ
東京都千代田区神田佐久間町
- 表層改良テスト
新潟県新潟市中央区
- 鋼管工法デモ
新潟県新潟市中央区
- 鋼管工法テスト
東京都台東区浅草橋

日付で範囲指定した場合。

予定取得条件

戻る 取得

事業所 すべて

指定なし

本日の予定を取得

予定日時 明日の予定を取得

指定日の予定を取得

開始 2017/01/01

終了 2020/01/16

物件番号

物件名称 テスト

住所

予定取得

戻る 取得

すべて選択 すべて解除

- 柱状改良テスト
東京都千代田区神田佐久間町
- 表層改良テスト
新潟県新潟市中央区
- 鋼管工法テスト
東京都台東区浅草橋

日付・物件名称で範囲指定した場合。

予定取得条件

戻る 取得

事業所 すべて

指定なし

本日の予定を取得

予定日時 明日の予定を取得

指定日の予定を取得

開始 2017/11/17

終了 2017/11/30

物件番号

物件名称 テスト

住所 東別

予定取得

戻る 取得

すべて選択 すべて解除

- 柱状改良テスト
東京都千代田区神田佐久間町
- 鋼管工法テスト
東京都台東区浅草橋

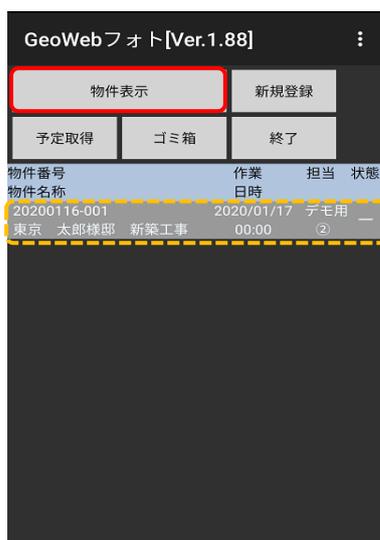
日付・物件名称・住所で範囲指定した場合。

2. 物件の予定情報をダウンロードする

【スマートフォン・タブレット】

3. 物件情報を確認する

メイン画面で、確認したい物件情報を選択状態にして「物件表示」ボタンをタップします。物件情報画面が表示されます。



選択状態の明細は、背景がグレーになります。



物件情報画面

パソコンで物件登録をする時にインターネットサイトのURLを登録すると、下図のような  のアイコンが表示されます。アイコンをタップすると、登録されたURLのホームページを端末で閲覧できます。また、 のアイコンをタップすると、登録した住所を地図アプリで確認できます。



その他の物件情報画面の各項目の内容については、「3. 物件情報を新規登録する」のページを参照してください。

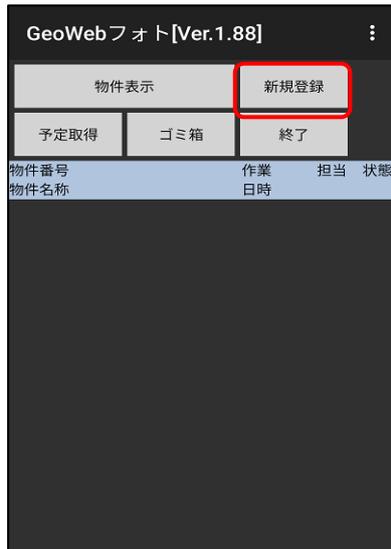
3. 物件情報を新規登録する

【スマートフォン・タブレット】

GeoWebサーバーに事前に物件情報を登録しなかった場合や、電波状況が悪く予定取得ができなかった等の場合は、現場にてスマートフォン・タブレットで物件情報の登録ができます。

1. 物件情報画面を表示する

メイン画面の「新規作成」ボタンをタップして、物件情報画面を表示します。



GeoWebフォト メイン画面



物件情報画面

2. 物件情報の入力を行う

物件情報の入力を行います。

項目	内容
戻るボタン	メイン画面へ戻ります。
保存ボタン	入力・作業内容を保存しメイン画面へ戻ります。
送信ボタン	写真データをGeoWebサーバーへ送信します。
設定ボタン	パターン設定画面を表示し、撮影パターンと黒板表示の設定をします。
物件番号 ※	物件番号を半角で入力します。 新規登録時は「年月日時分秒-電話番号下4桁」が初期表示されます。 必要に応じて変更してください。
物件名称 ※	物件名称を入力します。
住所 ※	物件の住所を入力します。
地図ボタン	住所が入力されている状態でタップすると、Googleマップを起動して周辺地図を表示します。
担当者 ※	担当者が表示されます。
パターン ※	撮影パターン名が表示されます。

3. 物件情報を新規登録する

【スマートフォン・タブレット】

項目	内容
作業日時	作業日時が表示されます。 予定取得直後の場合は作業予定日時が表示されます。
写真撮影ボタン	写真一覧画面を表示し、写真撮影の作業を行います。
写真枚数	写真の撮影枚数と未送信の枚数を表示します。
ファイル管理ボタン	ファイル管理画面を表示します。
ファイル数	ダウンロードしたファイル数を表示します。

※の項目は、予定取得した物件の場合は変更できません。

物件名称と住所は、長くて表示しきれない場合、 アイコンが点滅表示されます。
アイコンをタップすると、別画面で全文表示され確認できます。

3. 撮影パターンと黒板の表示設定を行う

物件情報画面の「設定」ボタンをタップして、パターン設定画面を表示します。

パターン設定画面で、撮影セットと黒板の表示設定を指定して、「設定」ボタンをタップします。



物件情報画面

パターン設定画面

項目	内容
戻るボタン	パターンの選択を中止し、物件情報画面へ戻ります。
設定ボタン	パターンの選択内容を保存し、物件情報画面へ戻ります。
撮影セット	写真の撮影セットを選択します。写真撮影後は変更できません。
チェックリストパターン	現場情報のチェックリスト項目を選択します。
黒板タイプ	電子黒板機能の選択をします。 使用しない場合は「なし」を選択します。
元請物件番号	元請会社が管理している物件番号を入力できます。
元請会社名	元請会社の社名を入力できます。
工法名（黒板）	工法名が含まれる黒板パターンを選択すると、工法名が表示されます。
表示位置	画像内での電子黒板の表示位置を設定します。
表示サイズ	電子黒板の表示サイズを選択します。
黒板カラー	電子黒板の色を選択します。
文字サイズ	電子黒板の文字サイズを選択します。

4. 写真の撮影を行う

【スマートフォン・タブレット】

現場での写真撮影を行います。写真セットにない項目も追加して撮影できます。

1. 写真一覧画面を表示する

物件情報画面の「写真撮影」ボタンをタップして、写真一覧画面を表示します。



物件情報画面



写真一覧画面

2. 写真の撮影を行う

写真表示エリアをタップすると、カメラが起動します。撮影すると写真表示エリアに反映されます。



項目	内容
戻るボタン	物件情報画面に戻ります。
追加ボタン	写真撮影追加画面を表示し、写真の追加撮影を行います。
並び替えボタン	写真出力順変更画面を表示し、出力順の変更を行います。
報告書出力設定	写真出力選択画面を表示し、報告書の出力の有無を選択します。
GPS捕捉状況	GPSの捕捉状況と数を表示します。 ■：取得失敗 ■：GPS捕捉中 GPS情報が必要な写真を撮影する場合は「■：GPS捕捉中」の時のみカメラが起動します。
写真表示エリア	タップするとカメラが起動します。撮影後は写真が表示されます。写真をタップすると別画面で写真の確認や黒板の設定ができます。
撮影名称	撮影名称と送信状況を表示します。 ●：撮影済み、送信済み ●：撮影済み、未送信 ●：未撮影、未送信

4. 写真の撮影を行う

【スマートフォン・タブレット】



カメラが起動します。写真の撮影を行います。

-  撮影を中止し写真一覧画面に戻ります。
-  カメラの設定画面を表示します。
-  フラッシュの設定を行います。
-  セルフタイマーをONにします。

画面左上のバーをスクロールすると、ズーム機能が利用できます。



撮影した写真は写真表示エリアに反映されます。

写真表示エリアをタップすると、以下のような画面が表示され、再撮影や黒板の設定ができます。



-  写真一覧画面に戻ります。
-  報告書出力の設定、撮影名称とコメントの入力を行います。
-  カメラを起動し、写真の再撮影を行います。
-  電子黒板の設定と表示内容の入力を行います。
-  電子黒板の表示位置の設定を行います。
-  タップするたびに写真を90度回転させます。
-  画像のみを表示し拡大して確認します。
-  電子黒板内容の本文のみの編集を行います。

4. 写真の撮影を行う

【スマートフォン・タブレット】

3. 写真セットにない項目を追加して撮影する

写真一覧にない項目を撮影したい場合は、写真一覧画面で「追加」ボタンをタップし、写真撮影追加画面を表示します。追加する写真名を選択し、「撮影」ボタンをタップします。



撮影したい写真を選択して「撮影」ボタンをタップするとカメラが起動します。

撮影した写真が追加されます。

4. 複数撮影する写真をグループに登録する。

複数の写真を撮影する場合は、グループ登録することで管理を簡単にすることができます。

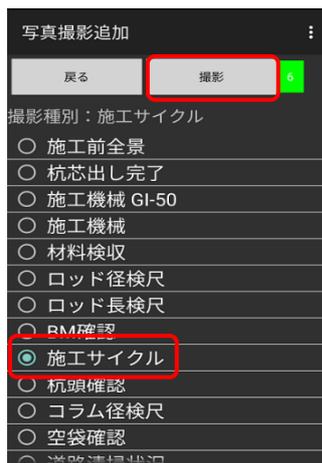


登録された写真グループ一覧画面



グループ登録された写真一覧画面

グループ登録された写真を追加撮影すると、1グループをそのまま追加することができます。



4. 写真の撮影を行う

【スマートフォン・タブレット】

5. 写真の出力順の並び替えを行う

写真の出力順を変更したい場合は、写真一覧画面で「並び替え」ボタンをタップし、写真出力順編集画面を表示します。



出力順を変更したい写真の  をタップし、上下にスワイプして出力順を変更します。変更が終わったら「保存」ボタンをタップし、写真一覧画面に戻ります。

6. 報告書に出力する写真を選択する。

撮影した写真を報告書に出力するかどうかを選択できます。

写真一覧画面で「報告書出力設定」ボタンをタップし、写真出力選択画面を表示します。



チェックマークで報告書に写真を出力するかどうかを選択します。チェックが外れている写真は報告書に出力されません。選択が終わったら「保存」ボタンをタップし、写真一覧画面に戻ります。

5. 写真データを送信する

【スマートフォン・タブレット】

写真データをGeoWebサーバーへ送信します。物件情報内のすべての未送信データが送信されます。

1. 写真データの送信を行う

物件情報画面の「送信」ボタンをタップすると、確認メッセージが表示されます。
確認メッセージで「はい」をタップすると送信開始します。



送信中は画面に送信状況が表示されます。

送信完了メッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。

送信が完了すると、物件情報の写真未送信枚数表示が更新されます。



6. ファイル管理ダウンロード機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

GeoWebサーバーにアップロードしたファイルを、スマートフォンやタブレットで閲覧できます。スマートフォンやタブレットでファイルを開くには、対応したアプリを事前にインストールしておく必要があります。

1. ファイル管理画面を表示する

物件情報画面の「ファイル管理」ボタンをタップして、ファイル管理画面を表示します。



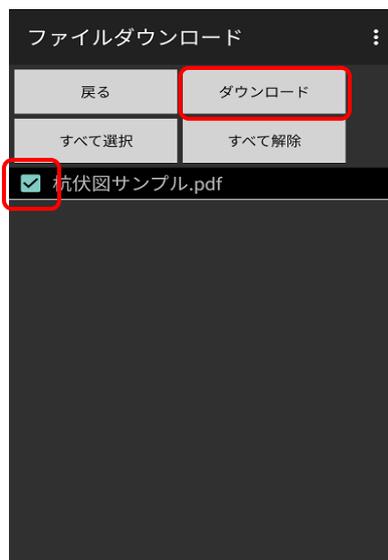
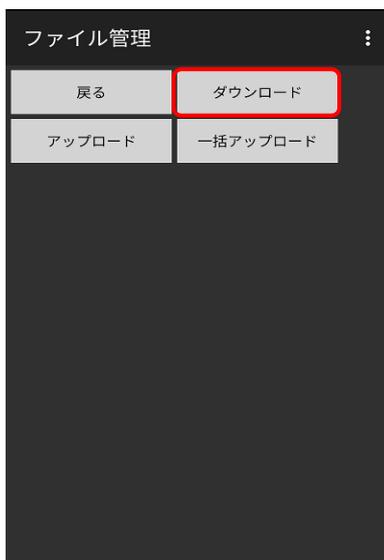
物件情報画面



ファイル管理画面

2. ファイルのダウンロードを行う

「ダウンロード」ボタンをタップし、ファイルダウンロード画面を表示します。ダウンロードできるファイルがある場合は、ファイル名が表示されます。ダウンロードしたいファイルのチェックボックスをONにして「ダウンロード」ボタンをタップします。



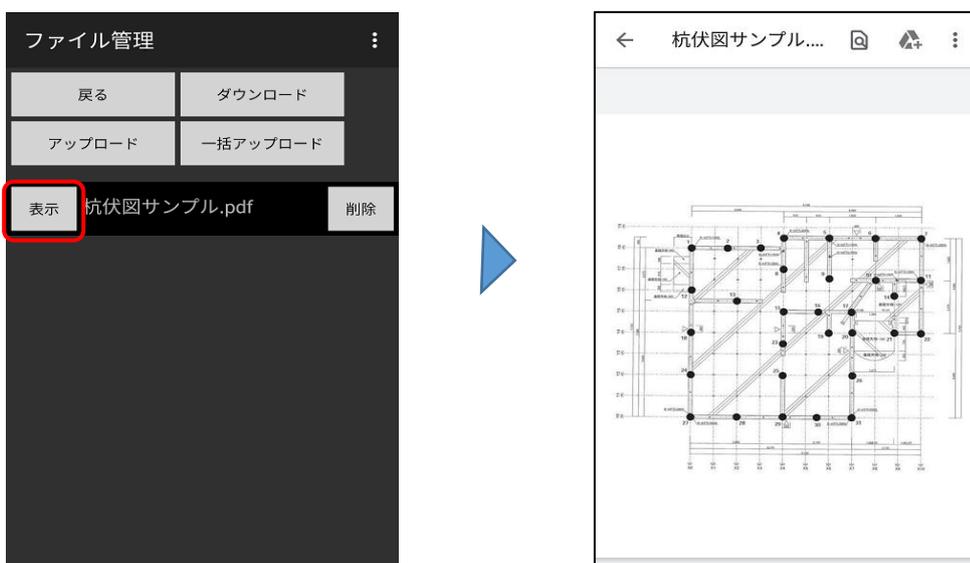
ファイルダウンロード画面



ファイル管理画面に、ダウンロードしたファイルが表示されます。

3. ファイルの閲覧を行う

ファイル管理画面で、閲覧したいファイルの「表示」ボタンをタップすると、ファイルが表示されます。閲覧を終了する場合は、本体の「戻る」キーで戻ります。



注 意： GeoWebサーバーにファイルをアップロードした際に、共有の許可がされていないファイルはスマートフォンやタブレットでダウンロードできません。
パソコン版のGeoWebフォトのファイル管理機能にて、共有の設定を確認してください。

注 意： ファイルを開くには、対応したアプリをあらかじめインストールしておく必要があります。GooglePlay等でインストールしてください。
ファイルを開く際、アプリケーションの選択画面が表示されることがあります。
適したものをご使用ください。

4. ファイルの削除を行う

ファイル管理画面で削除したいファイルの「削除」ボタンをタップすると、ファイルの削除ができます。確認メッセージで「はい」をタップするとファイルが削除されます。



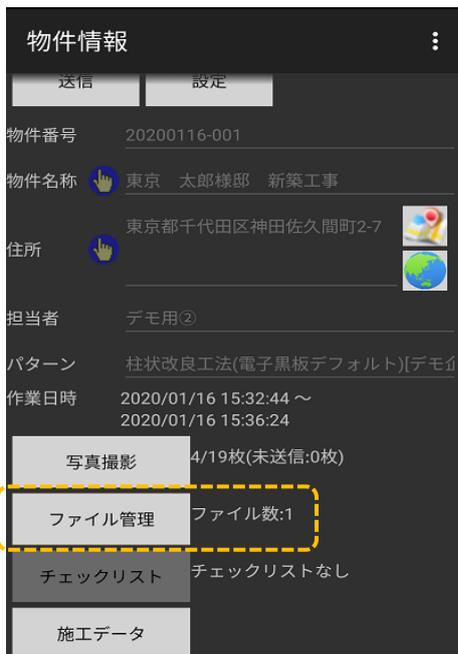
削除後にファイルを閲覧したい場合は、再度ダウンロードからやり直してください。

6. ファイル管理ダウンロード機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

5. ファイル数表示と写真データの送信について

ファイル管理機能にてファイルのダウンロードをしてから物件情報画面に戻ると、「ファイル管理」ボタンの右にダウンロードしたファイルの数が表示されます。



表示されたファイル数は、写真データの送信とは関係ありません。

写真データ送信時にダウンロードしたファイルが送信されることもありません。

7. ファイル管理アップロード機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

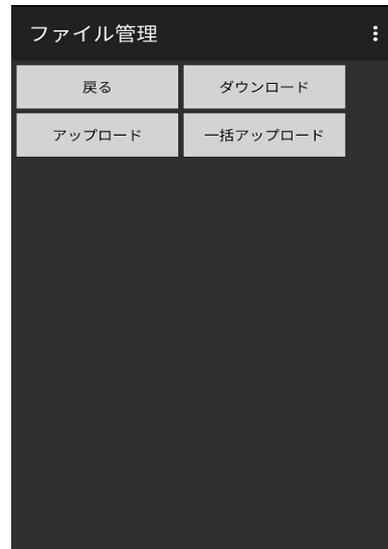
ファイルアップロード機能を使用し現場で取得した施工データや動画ファイルを、GeoWebサーバーへアップロードすることができます。

1. ファイル管理画面を表示する

物件情報画面の「ファイル管理」ボタンをタップして、ファイル管理画面を表示します。



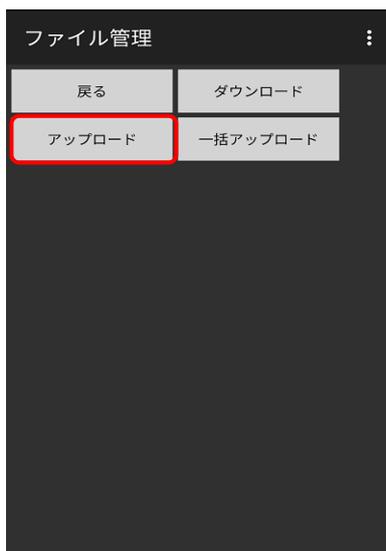
物件情報画面



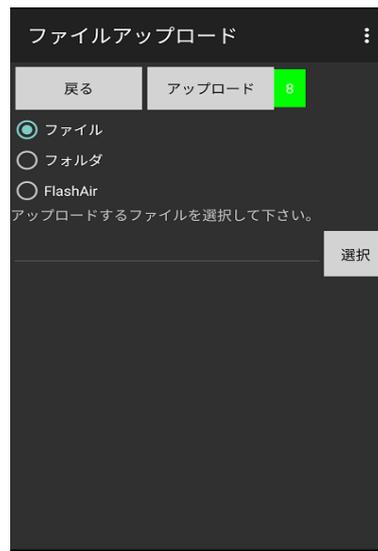
ファイル管理画面

2. アップロード画面を表示する

「アップロード」ボタンをタップし、ファイルアップロード画面を表示します。



ファイル管理画面



ファイルアップロード画面

7. ファイル管理アップロード機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

3. 「ファイル」もしくは「フォルダ」を選択する

ファイルアップロード画面で「ファイル」もしくは「フォルダ」を選択し、アップロードしたい写真・動画などを選択します。



ファイルアップロード画面

フォルダ選択画面

ファイル選択画面

4. 「ファイル」もしくは「フォルダ」をアップロードする

「アップロード」をタップして、指定した「ファイル」もしくは「フォルダ」をGeoWebフォトサーバーへアップロードする。



注 意： アップロードを行ったファイル・フォルダはGeoWebサーバー内物件情報登録画面「ファイル」に格納されます。

操作方法についてはGeoWebフォト操作マニュアル パソコン編でご確認ください。

8. ファイル管理FlashAir連携機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

FlashAirと端末をWi-Fi接続して、データをGeoWebフォトサーバーへ送信することができます。

1. FlashAir用のアプリをインストールする。



アプリがインストールされていない状態で「選択」ボタンをタップすると、インストール画面に移動します。画面の指示に従ってアプリをインストールしてください。

2. ファイル管理画面を表示する

物件情報画面の「ファイル管理」ボタンをタップして、ファイル管理画面を表示します。「FlashAir」をチェックして「選択」をタップすると周辺のWi-Fi機器一覧が表示されます。FlashAirを選択して接続を開始します。



ファイルアップロード画面

Wi-Fi機器一覧

FlashAirと接続されると、FlashAirに記録されたデータが表示されます。送信したいフォルダかファイルをチェックして、「コピー」をタップします。



FlashAirデータ画面

8. ファイル管理FlashAir連携機能を使用する

【スマートフォン・タブレット】

送信したいファイルをコピーすると、Zipファイルに圧縮されて表示されます。
画面中央にZipファイルの表示を確認したら、「アップロード」をタップします。



「はい」をタップするとファイル送信画面に移動します。
完了画面の「OK」をタップして、FlashAirのデータ送信は完了です。



注 意： FlashAirの設定によっては、電源を入れたままでも通信が途切れる場合があります。
Wi-Fi接続ができない時は、FlashAirの電源を入れなおしてから再度お試しください。
FlashAir機能を利用するには、FlashAirを別途購入する必要があります。

9. ファイル管理一括アップロード機能を使用する 【スマートフォン・タブレット】

1. 一括アップロードを行いたい記憶媒体（USBメモリなど）を外部端子より接続する

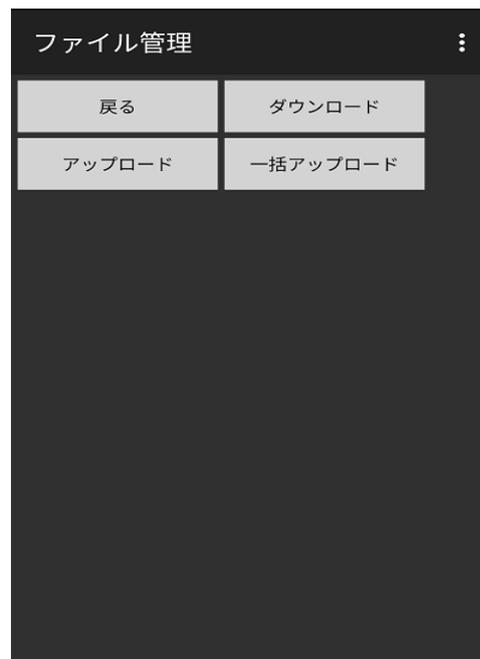


2. ファイル管理画面を表示する

物件情報画面の「ファイル管理」ボタンをタップして、ファイル管理画面を表示します。



物件情報画面

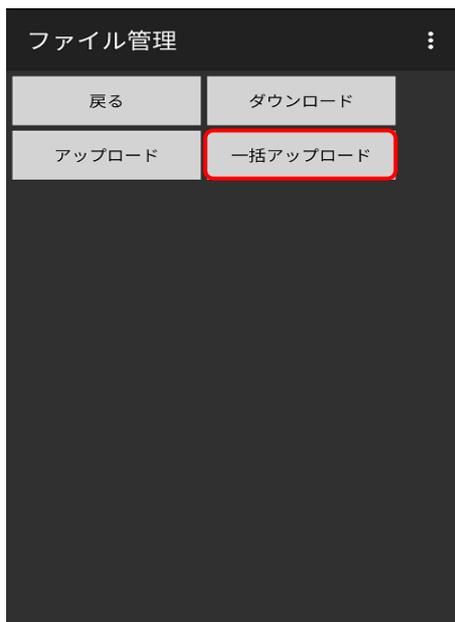


ファイル管理画面

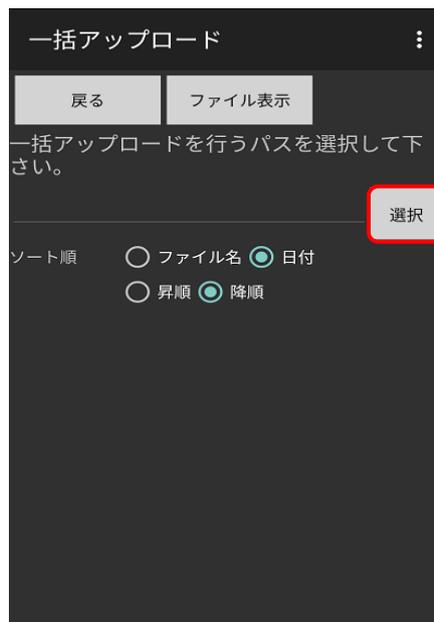
9. ファイル管理一括アップロード機能を使用する 【スマートフォン・タブレット】

3. 一括アップロード画面を表示する

「一括アップロード」ボタンをタップし、一括アップロード画面を表示します。



ファイル管理画面

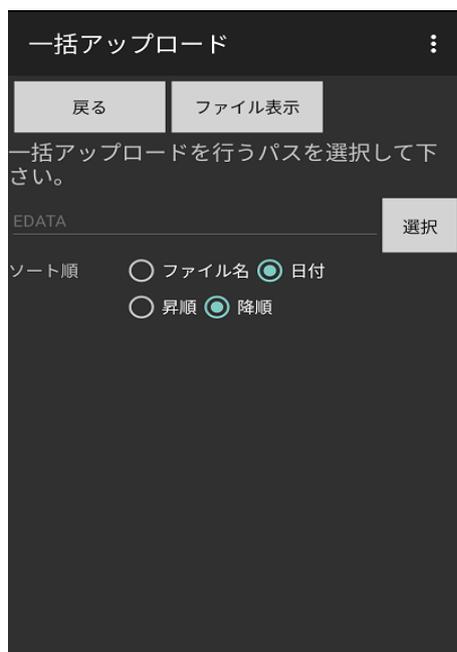


一括アップロード画面

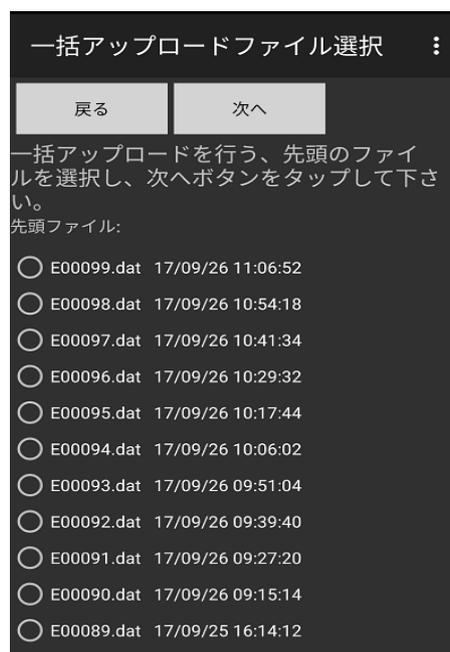
「選択」ボタンからアップロードしたいファイルが格納されているフォルダを選択します。選択方法は「ファイル管理（アップロード）」と同じです。

4. ファイル表示をタップする

ファイル表示をタップして一括アップロードファイル選択画面を表示する。



一括アップロード画面



一括アップロードファイル選択画面

9. ファイル管理一括アップロード機能を使用する【スマートフォン・タブレット】

5. アップロードするファイルの選択を行う

一括アップロードを行いたいファイルの先頭
「アップロード」をタップします。



6. 選択したファイルを一括アップロードする



注 意： アップロードを行ったファイル・フォルダはGeoWebサーバー内物件情報登録画面「ファイル」に格納されます。
操作方法についてはGeoWebフォト操作マニュアル パソコン編でご確認ください。

施工データを送信するシステム「GeoWeb クロス」「GeoWebシステム【施工版】」をフォトアプリ内から起動することができます。

この方法で送信した施工データは、自動でフォトサーバ内の「ファイル」に格納されます。

※AGM、YBMのアプリバージョンがVer.1.7以上である必要があります。

1. フォトアプリ内から施工データ送信アプリを起動する。

フォト物件画面の「施工データ」をタップします。



物件情報画面



施工データ送信アプリ選択画面

2. 使用したいアプリを選択する。

3つのアプリから使用したいアプリを選択すると、施工データ送信アプリが起動します。



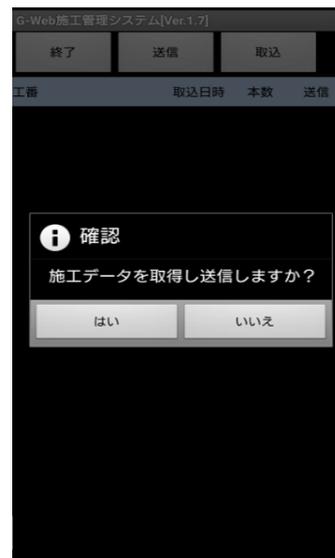
施工データ送信アプリ選択画面
「Cross」を選択



GeoWebクロス画面



施工データ送信アプリ選択画面
「AGM」を選択



GeoWebシステム【施工版（AGM）】画面



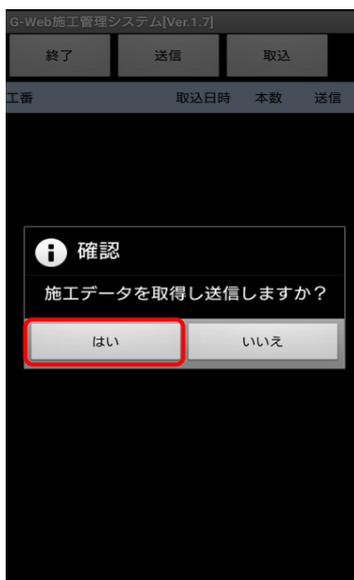
施工データ送信アプリ選択画面
「AGM」を選択



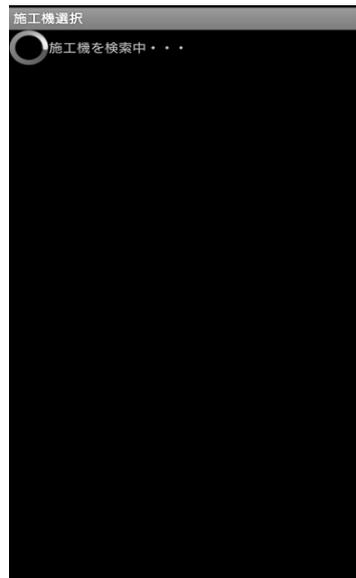
GeoWebシステム【施工版（YBM）】画面

3. 施工データを送信する

使用したいアプリを選択して、施工データを送信します。
ここでは施工版（AGM）を例に説明します。



「はい」をタップ



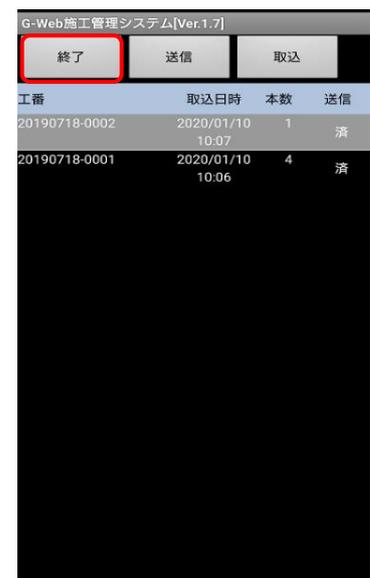
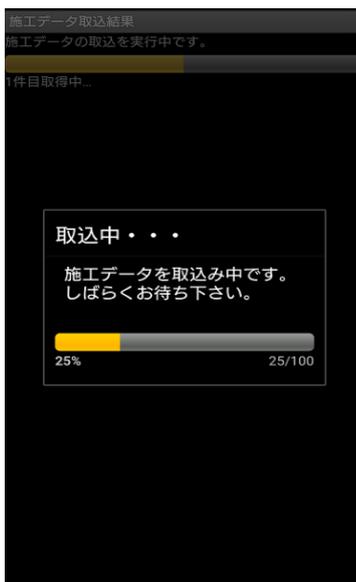
使用中の施工機と端末を
ペアリング設定します。



送信したいデータをチェック
して、「取込」をタップ

施工データの送信が始まります。完了したら「OK」をタップしてください。
送信された施工データ一覧表画面に移動します。

確認ができたなら「終了」ボタンをタップして、GeoWebフォトアプリに戻ります。



注 意： アップロードを行ったファイル・フォルダはGeoWebサーバー内物件情報登録画面「ファイル」に格納されます。
操作方法についてはGeoWebフォト操作マニュアル パソコン編でご確認ください。

ゴミ箱機能の設定により、指定日以前の物件情報を自動でゴミ箱へ移動させることができます。ゴミ箱へ移動した物件情報はメイン画面には表示されなくなり、GeoWeb起動時の一覧の表示速度が改善されます。

1. ゴミ箱機能を有効にする

メイン画面の「ゴミ箱」ボタンをタップし、ゴミ箱画面を表示します。



メイン画面



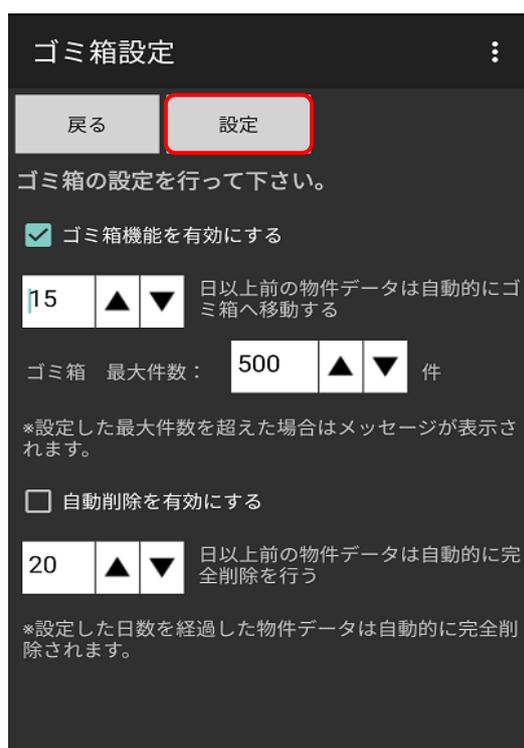
ゴミ箱画面

「設定」ボタンをタップして、ゴミ箱設定画面を表示します。



項目	内容
ボタン	
戻る	メイン画面に戻ります。
すべて選択	明細のすべての物件情報を選択状態にします。
すべて解除	明細のすべての物件情報の選択を解除します。
復旧	明細で選択中の物件情報をメイン画面に復旧させます。
完全削除	明細で選択中の物件情報を完全に削除します。
設定	ゴミ箱設定画面を表示します。
明細	
チェックボックス	復旧または完全削除の操作をする場合にONにします。
物件番号	物件番号が表示されます。
物件名称	物件名称が表示されます。

ゴミ箱設定画面で、各項目を設定して「設定」ボタンをタップします。



ゴミ箱設定画面

項目	内容
戻るボタン	ゴミ箱画面に戻ります。
設定ボタン	設定内容を保存し、ゴミ箱画面に戻ります。
ゴミ箱機能を有効にする	チェックを入れると設定した内容で、ゴミ箱機能を使用できます。
ゴミ箱移動対象日	ゴミ箱へ移動する物件情報の日付を設定します。
最大件数指定	ゴミ箱に保存する物件情報の最大件数を指定します。
自動削除を有効にする	チェックを入れると自動削除対象日の日付以前の物件情報が自動的に削除されます。初期状態では無効に設定されています。
自動削除対象日	自動完全削除する物件情報の日付を設定します。

ゴミ箱画面で「戻る」ボタンをタップしてメイン画面に戻ると、ゴミ箱機能の処理が開始されます。

注 意： ゴミ箱機能の設定後にメイン画面を表示すると、設定した条件に該当する物件情報をゴミ箱へ移動する処理が開始され、移動が完了するまでGeoWebフォトの操作ができなくなります。メイン画面にたくさんの物件情報がたまった状態では、移動処理に時間がかかることがあるので、ゴミ箱機能の設定は時間があるときに行ってください。

2. ゴミ箱内の物件情報をメイン画面に復旧させる

ゴミ箱画面の明細で、復旧させたい物件情報のチェックボックスをONにして、「復旧」ボタンをタップします。

確認メッセージで「はい」をタップすると、物件情報が復旧されます。



例) 「東京 三郎様邸 新築工事」を復旧します。



ゴミ箱から「東京 三郎様邸 新築工事」が削除され、メイン画面に復帰しています。

3. ゴミ箱内の物件情報を完全に削除する

ゴミ箱画面の明細で、完全に削除したい物件情報のチェックボックスをONにして、「完全削除」ボタンをタップします。

確認メッセージで「はい」をタップすると、物件情報が完全に削除されます。



削除したい物件をチェックして「完全削除」をタップします。
チェックした物件が完全に削除されます。

注 意： 完全削除した物件情報は元に戻すことはできません。
操作の実行は十分ご注意ください。

GeoWebフォトアプリのシステム設定を行います。

1. 設定画面を表示する

メイン画面で、スマートフォン・タブレット本体のメニューキー「・・・」をタップすると、画面下部にメニューが表示されます。「設定」をタップすると設定画面が表示されます。



メイン画面

設定画面

2. GPSに関する設定を行う

設定画面の「GPS設定」をタップします。GPS設定画面が表示されます。



GPS設定画面

項目	内容
起動時にGPS捕捉On	GeoWebフォトアプリの起動時にGPSの捕捉を開始したい場合はチェックをONにします。チェックOFFの場合は撮影時のみGPSの捕捉を行い、バッテリーの消費を抑えることが期待できますが、GPSの捕捉に時間がかかる場合があります。通常はチェックONの設定をおすすめします。
撮影終了時にGPS捕捉Off	写真の撮影を終了し物件情報画面に戻るときにGPSの捕捉を終了したい場合はチェックをONにします。バッテリーの消費を抑えることが期待できますが、GPSの捕捉に時間がかかる場合があります。チェックOFFの場合はGeoWebフォトアプリを終了するまでGPSの捕捉を継続します。通常はチェックOFFの設定をおすすめします。
項目	内容
GPSの捕捉タイプ	「通常」「タフパッド向け」のどちらかを選択します。パナソニック製タフパッドを使用中の場合は「タフパッド向け」を選択します。その他の機種は「通常」の選択で問題ありませんが、GPSの捕捉が不安定な場合は「タフパッド向け」を選択してお試しください。

3. 写真撮影に関する設定を行う

設定画面の「撮影設定」をタップします。撮影設定画面が表示されます。

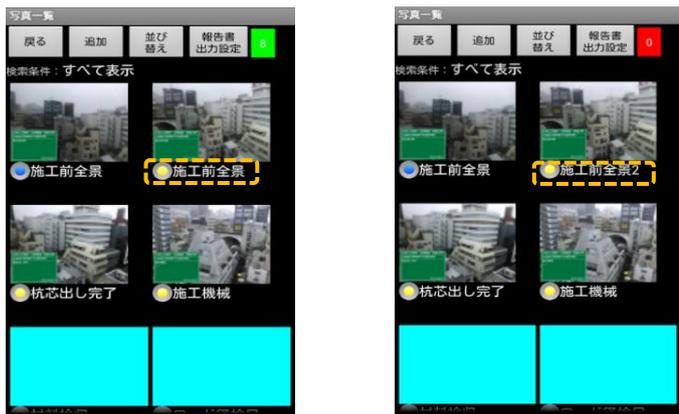


撮影設定画面

項目	内容
GPS情報付加設定	撮影した写真の上部にGPS情報を付加したい場合はチェックをONにします。
カメラ画面表示設定	カメラ画面の上下を反転させたい場合はチェックをONにします。
追加撮影時連番付与なし	追加撮影を行った時に写真名称に連番が表示されなくなります。



参考：GPS情報付加設定をONにした場合の写真例



連番付与あり

連番付与なし

参考：追加写真撮影時連番付与なしにチェックした場合、「施工前全景」写真の追加撮影を行います。

4. 写真データの自動送信の設定を行う

設定画面の「自動送信設定」をタップします。自動送信設定画面が表示されます。



自動送信設定画面

項目	内容
自動送信設定	スマートフォン・タブレットの画面消灯時に、未送信の写真データを自動的に送信したい場合はチェックをONにします。初期設定ではONに設定されています。

自動送信設定をONにして画面を消灯すると、60秒後に未送信の写真データの送信を開始します。画面を再度点灯させると、以下のような画面が表示されることがあります。

■ 画面消灯から60秒以内に画面を点灯したとき



自動送信までの秒数をカウントダウンしています。

GeoWebフォトの作業を続行したい場合は「キャンセル」ボタンをタップして待機を中止してください。

ご利用の機種により左図のメッセージが表示される場合があります。

通常は画面点灯時に自動で待機中止となり、このメッセージは表示されません。

■ 画面消灯から60秒経過後に画面を点灯したとき



自動送信が始まっています。

GeoWebフォトの作業を続行したい場合は「キャンセル」ボタンをタップして待機を中止してください。

自動送信は、送信中の写真データの送信が終わり次の写真データの送信を開始する前に中止されます。

5. CALSモードの設定を行う。

設定画面の「CALSモード設定」をタップします。CALSモード設定画面が表示されます。



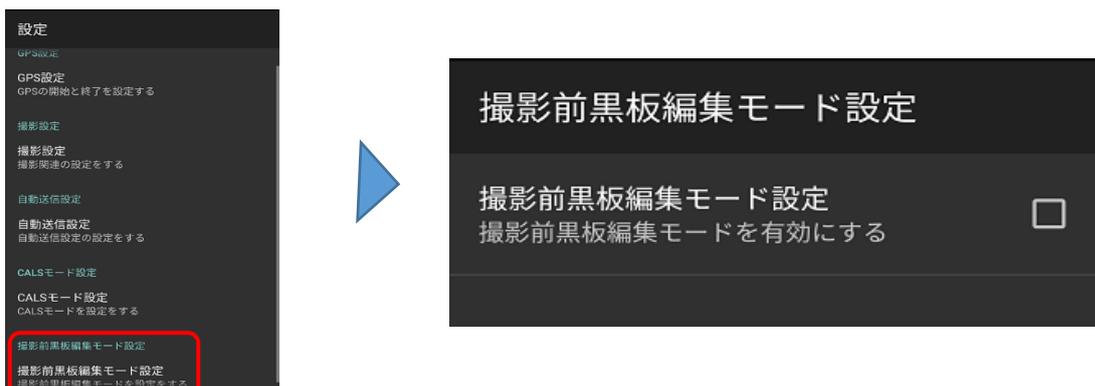
CALSモードをONにして撮影した写真は、再撮影、電子黒板編集ができなくなります。写真名称、コメント欄のみ編集可能です。



6. 撮影前黒板編集モードの設定を行う。

設定画面の「撮影前黒板編集モード設定」をタップします。

撮影前黒板編集モード設定画面が表示されます。



撮影前黒板編集モードをONにすると、撮影画面以降の前に黒板編集画面が表示されます。黒板内容を入力してから写真を撮影する事ができます。



「材料検収」を選択



電子黒板編集画面



撮影画面